

## 少数台数のリコール届出の公表について（平成18年3月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成18年3月は下記のとおり19件の届出がありましたので、公表します。

## 1. 届出者：シトロエン・ジャポン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
3月2日	外1288	車名：シトロエン 型式：GH-N7RFN 通称名：クサラ	66	平成14年12月4日～ 平成15年6月3日
不具合の部位等	エンジンコントロールユニットのソフトウェアのプログラムが不適切なため、イグニッションスイッチを断った後も燃料ポンプが作動しつづけることがある。そのため、燃料パイプ内の圧力が高くなり、最悪の場合、燃料タンクとパイプの接続部から燃料がもれるおそれがある。			

## 2. 届出者：日立建機株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月10日	1630	車名：日立 型式：SC-125W 通称名：ZX125W	4	平成17年12月22日～ 平成18年1月7日
不具合の部位等	組立工程において、後部反射器が取り付けられていないものがある。			

## 3. 届出者：ピー・エー・ジー・インポート株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
3月10日	外1287	車名：ジャガー 型式：CBA-J82TB等 通称名：スーパーV8 L等	49	平成17年8月9日～ 平成17年11月25日
不具合の部位等	サンルーフ装着車両において、ガラスを固定しているフレームの組付けが不適切なため、当該フレームとガラスが干渉しているものがある。そのため、ドアを閉じた時及び段差通過時に車体に加わる強い衝撃、または、サンルーフの開閉時に、当該ガラスが破損し、最悪の場合、乗員に傷害を与えるおそれがある。			

## 4. 届出者：アウディジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
3月14日	外1290	車名：アボルギーニ 型式：GH-JFGE12 通称名：ガヤルド	16	平成17年10月14日～ 平成18年1月26日
不具合の部位等	前輪サスペンションアーム及び後輪サスペンションアームのボールジョイント取付ボルトの締め付けが不適切なため、サーキット走行等の過酷な走行を繰り返していると、取付ボルトが緩むことがある。そのため、そのまま使用を続けると、ボールジョイントにガタが生じて異音が発生し、最悪の場合、ジョイントが外れ、走行安定性を損なうおそれがある。			

## 5. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月15日 (公表済み)	1634	車名：三菱 型式：KL-FP50KNX 通称名：ふそう	2	平成15年2月14日～ 平成15年4月10日
不具合の部位等	エンジンを支持しているエンジンマウントにおいて、防振ゴム部の強度が不足しているため、発進加速時のエンジン回転方向の揺動の繰返しにより、当該マウントのゴム部に亀裂が発生し、破断することがある。そのため、そのまま使用を続けると、エンジンフロントマウントも損傷し、最悪の場合、変速機操作力伝達機構の原動機側支持部が外れて、変速操作が出来なくなるおそれがある。			
備考	本件は、平成16年9月29日付け「届出番号1238」、平成17年6月3日付け「届出番号1447」にてリコール届出を行ったものですが、対象車両の選定に一部誤りがあったため、対象車両を追加し、新たに届出するものです。			

## 6. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月15日 (公表済み)	1635	車名：三菱 型式：KL-MP37JK 通称名：ふそうエアロスター	1	平成16年8月18日
不具合の部位等	大型路線バスの始動装置において、フライホイールリングギヤの硬度及びスタータマグネチックスイッチ起動回路の配線長さが不適切なため、始動操作時にスタータピニオンがフライホイールリングギヤに衝突干渉し、噛合い不良からギヤ端部が欠損、損傷することがある。そのため、エンジンの始動が困難あるいは不能となり、始動操作を繰返し行なうと、最悪の場合、火災になるおそれがある。			
備考	本件は、平成16年9月15日付け「届出番号1222」にてリコール届出を行ったものですが、対象車両の選定に一部誤りがあったため、対象車両を追加し、新たに届出するものです。			

## 7. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月15日 (公表済み)	1636	車名：三菱 型式：KL-FP50JDR等 通称名：ふそう	10	平成12年3月9日～ 平成14年12月19日
不具合の部位等	機械式自動変速機の変速を制御している電子制御機器（ECU）の制御プログラムが不適切なため、ドライブレンジで走行後、そのままの状態クラッチペダルを踏まずに停止した場合、クラッチが自動で切れた状態となっているため、ブレーキを操作していないと下り坂等により極低速で車両が動き出すことがあり、その状態をECUが通常走行になったと誤認識し、クラッチが自動的に接続され、車両が発進するおそれがある。			
備考	本件は、平成16年10月13日付け「届出番号1268」にてリコール届出を行ったものですが、対象車両の選定に一部誤りがあったため、対象車両を追加し、新たに届出するものです。			

## 8. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月15日 (公表済み)	1637	車名：三菱 型式：KC-FP542DR等 通称名：ふそう	67	平成8年7月29日～ 平成15年3月10日
不具合の部位等	変速機（トランスミッション）内部の3速歯車を支えるベアリング（ニードルローラーベアリング）の保持器の強度が不十分なため、3速の歯車より加わる荷重等により当該保持器が変形・破損することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、シフト不良、異音等が発生して、最悪の場合、当該ベアリングが焼き付き走行不能となるおそれがある。			
備考	本件は、平成16年10月20日付け「届出番号1277」にてリコール届出を行ったものですが、対象車両の選定に一部誤りがあったため、対象車両を追加し、新たに届出するものです。			

## 9. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月15日 (公表済み)	1638	車名：三菱 型式：KM-FK71DM 通称名：ふそうファイター	3	平成14年10月8日～ 平成16年8月19日
不具合の部位等	燃料噴射ポンプの噴射管を固定するゴム付金具の締付構造が不適切なため、当該金具のゴムが劣化すると取付ボルト、ナットが弛み、当該金具及びボルト、ナットが脱落することがある。そのため、脱落したボルト、ナットがスタータモーターと端子の間に挟まるとショートし、最悪の場合、スタータハーネスが損傷し始動不能となる、又は火災に至るおそれがある。			
備考	本件は、平成16年9月29日付け「届出番号1254」、平成17年6月1日付け「届出番号1443」にてリコール届出を行ったものですが、対象車両の選定に一部誤りがあったため、対象車両を追加し、新たに届出するものです。			

## 10. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月15日 (公表済み)	1639	車名：三菱 型式：GB-FA510B等 通称名：ふそうキャンターガッツ等	15	平成9年4月2日～ 平成11年3月10日
不具合の部位等	駐車ブレーキケーブルとトランスミッション変速コントロールロッドの干渉を防止するための金具の形状が不適切なため、キャビンを上げた際に駐車ブレーキケーブルが、当該金具に引っ掛かることがある。そのため、そのままの状態ではキャビンを下げた場合、駐車ブレーキケーブルがキャブ内に設置された固定金具より外れ、駐車ブレーキが効かなくなるおそれがある。			
備考	本件は、平成17年2月17日付け「届出番号1360」にてリコール届出を行ったものですが、対象車両の選定に一部誤りがあったため、対象車両を追加し、新たに届出するものです。			

## 11. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月15日 (公表済み)	1640	車名：三菱 型式：KL-FR50MJX 通称名：ふそう	6	平成12年8月10日～ 平成12年10月23日
不具合の部位等	大型総輪駆動車において、車両左側フレーム内の電気配線の取り回しが不適切なため、当該配線がブレーキホース取付け金具又はパワーステアリング用オイルパイプ（パワステパイプ）と干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用すると、車両の振動等により電気配線又はパワステパイプが損傷し、最悪の場合、前照灯の不灯、原動機が停止（再始動不可）又は操舵力が重くなるおそれがある。			
備考	本件は、平成17年3月23日付け「届出番号1389」にてリコール届出を行ったものですが、対象車両の選定に一部誤りがあったため、対象車両を追加し、新たに届出するものです。			

## 12. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月15日 (公表済み)	1641	車名：三菱 型式：PA-BE66DG 通称名：ふそうローザ	4	平成18年1月10日～ 平成18年2月1日
不具合の部位等	小型バスの製造工程において、保安基準に規定する前照灯初期傾斜表示ラベルを貼り忘れた車両がある。			

## 1 3. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月23日 (公表済み)	1646	車名：三菱 型式：KC-BE459F等 通称名：ふそうローザ	13	平成7年5月26日～ 平成14年6月17日
不具合の部位等	駐車ブレーキケーブルのセンターブレーキ側ケーブルエンド（センターブレーキレバーとの接続固定用ケーブル先端部の金具）の形状が不適切なため、ケーブルエンドがレバーの溝に斜めに嵌まるおそれがある。そのため、そのままの状態で使用するとケーブル先端が屈曲、疲労切損し、最悪の場合、駐車時に制動力が確保できなくなるおそれがある。			
備考	本件は、平成16年10月7日付「届出番号1258」にてリコール届出を行ったものですが、対象車両の選定に一部誤りがあったため、対象車両を追加し、新たに届出するものです。			

## 1 4. 届出者：トヨタ自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月28日	1642	車名：トヨタ等 型式：CBA-UCF30等 通称名：セルシオ等	81	平成15年10月28日～ 平成17年12月13日
不具合の部位等	サイドエアバッグ、カーテンシールドエアバッグ、ニーエアバッグそれぞれのインフレーター（膨張装置）の組付工程が不適切なため、ガス加熱剤の充填量が不足しているものがある。そのため、エアバッグが作動するような衝撃を受けた際、ガスの膨張力が不足し当該エアバッグが展開せず、乗員に過度の傷害を与えるおそれがある。			

## 1 5. 届出者：マツダ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月29日	1651	車名：マツダ 型式：DBA-LY3P 通称名：MPV	39	平成18年2月8日～ 平成18年3月4日
不具合の部位等	リヤアクスルの製造工程において、組み付け作業が不適切なため、ホイールハブとトレーリングリンクの組み付けボルトの締め付けが不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ボルトが緩んで異音が発生し、最悪の場合、当該ボルトが折損し、脱輪して走行不能に至るおそれがある。			

## 1 6. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月29日 (公表済み)	1654	車名：三菱 型式：PA-FE70BB等 通称名：ふそうキャンター	15	平成17年10月3日～ 平成17年10月28日
不具合の部位等	スタビライザーリンク取り付け工程において、作業指示が不適切なため、当該部のナットの締め付けが不足している車両がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ナットが緩んで脱落し、スタビライザーリンクが抜けだしてブレーキホースと干渉し、最悪の場合、ブレーキホースに穴があいて、ブレーキ液が漏れ、制動力が低下するおそれがある。			

17. 届出者：丸山製作所株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月30日	1649	車名：丸山 型式：SS64A 通称名：丸山ステロスプレーSSA-S602DX	3	平成18年2月8日
不具合の部位等	シフトレバーの製造工程においてメッキ処理が不適切なため、材質の強度を低下させたものがある。そのため、シフトレバーを操作した際にシフトレバーが折損して変速不能となり、最悪の場合、折れた先端部が変速機内のギヤに噛み込み、変速機が破損して走行不能になるおそれがある。			

18. 届出者：フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月30日	外1294	車名：ベントレー 型式：GH-BLF 通称名：アルファJ.T	9	平成16年5月17日～ 平成17年1月26日
不具合の部位等	ペイント仕様のホイールにおいて、ボルト穴のテーパ部に誤って塗装してしまったため、当該ボルトが緩むものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ボルトが外れ、最悪の場合、ホイールが脱落するおそれがある。			

19. 届出者：株式会社福田モーター商会

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
3月30日	外1297	車名：モトグッティ 型式：LP等 通称名：BREVA1100等	63	平成17年6月2日～ 平成18年2月8日
不具合の部位等	ファイナルギヤボックスに組み付けられているベアリングの許容荷重の低いものを使用したため、当該ベアリングが早期に摩耗してシール性が低下することがある。そのため、そのまま使用を続けると、ホイール側接合部からオイル漏れが生じて飛散したオイルがリヤタイヤに付着し、最悪の場合、車両が転倒するおそれがある。			

[参考]

平成18年3月のリコール届出総件数(※)		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	15件	9件	6件
輸入車	10件	5件	5件
計	25件	14件	11件

※対象台数の追加の届出については届出総件数に含みません。

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室 中村、田辺
電話 03-5253-8111 (代表) (内線42352-42353)